

# 全商簿記1級

# 鈴木さん

(2年)

# が満点

# 努力積み重ね見事合格

花巻市石鳥谷町北寺林の花北青雲高校(小原和雄校長、生徒491人)

ビジネス情報科2年の鈴木千尋さん(17)は、全

国商業高校協会(全商)が1月に実施した簿記実

務検定1級で満点を獲得し、全商から表彰を受け

た。「自信がある分野はあったけれど満点とは思わなかった。とてもびっくりしている」と喜びをかみしめる。

同科の生徒は1年次に簿記の基礎を学び、2年次に財務会計や原価計算の授業を受けており、全商が主催する同検定など各種試験に挑戦している。

同検定1級は「会計」と「原価計算」の分野ごとに試験を受け、いずれも7割以上の得点によって合格。満点賞を受けるには、両分野での満点が求められる。鈴木さんは今年度、同校で唯一受賞。このほか全商の珠算・電卓実務検定(電卓)、情報処理検定(ビジネス情報部門)の1級も取得している。

卓球部に所属する鈴木

さんは、放課後や休日の部活動の傍ら、空き時間を見つけて模擬問題などに取り組み、実践できる部分があれば先生や友人に聞くなど、すぐに解決することを心掛けたという。「文章の表現が回りくどい場合があり、しっかり考えないと答えを導き出せない」と1級の難しさを振り返る一方、「貸借対照表や損益計算書などを作成するのは楽しい」と笑顔を見せる。

担任の小野寺友和教諭は「一生懸命努力した結果が表れた。検定をきっかけに自らで問題解決する力を付け、実践できる人になってほしい」と期待を込める。



全国商業高校協会の簿記実務検定1級に満点合格し、笑顔を見せる鈴木さん(左)と小野寺教諭

同校で唯一受賞。このほか全商の珠算・電卓実務検定(電卓)、情報処理検定(ビジネス情報部門)の1級も取得している。

同科の生徒は1年次に簿記の基礎を学び、2年次に財務会計や原価計算の授業を受けており、全商が主催する同検定など各種試験に挑戦している。

同検定1級は「会計」と「原価計算」の分野ごとに試験を受け、いずれも7割以上の得点によって合格。満点賞を受けるには、両分野での満点が求められる。鈴木さんは今年度、同校で唯一受賞。

担任の小野寺友和教諭は「一生懸命努力した結果が表れた。検定をきっかけに自らで問題解決する力を付け、実践できる人になってほしい」と期待を込める。